日精会たより

古河日光退職者の会
日精会
発行責任者 薄井和彦
編集責任者 石川誓一

県メーデー中央大会、鹿沼で！

日精会からも参加

連合栃木主催の第86回栃木県メーデー中央大会は4月29日、鹿沼のフォレストアリーナで開催。約1500人が雇用安定、労働者保護などを訴えた。日精会会員も参加した。大会は一昨年から隔年を五地協が持ち回りに。本年担当は、なんたい地協。

実行委員長の加藤剛会長が冒頭、（1）物価上昇で実質賃金が目減り（2）戦後70年、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えるのが使命（3）労働者派遣法改正案は雇用の不安定化を増長させるなど、宣言（案）の趣旨に沿う挨拶を述べ、「一時の政府の権力で憲法をねじ曲げ、不戦平和をおびやかすのは認められない。連合一丸となって取り組む」と、政府による一連の立法化への動きに反対を表明した。

議事に入り、メーデー宣言（案）・特別決議（案）をそれぞれ採択し、メーデースローガンを確認した。

本年度の各リーダー

◎支部長

細　尾	猪瀬洋二	今市北	舛田賢一
清　滝	神山敏子	今市南	矢部昌一
安良沢	野原敏雄	森友荊沢	児玉　進
久次良	川田盛一	豊　岡	大門新一
西　町	斉藤信厚	明　神	大門陽利
東　町	長尾明子	大沢東	飯野　正
大　字	福田義輝	大沢西	古川　勝
所　野	増渕秋夫	宇都宮	大塚寛一
		鹿　沼	荒川和雄

◎各部の役員

（部名）	（部長）	（副部長）	
歩こうかい	大門新一	玄梅正明	上尾宣行
		星野晃一	
ゴルフ	野原敏雄	福田和男	
グラウンドG	篠原勝男	加藤則男	林　亮
		児玉　進	
囲　碁	星　防人	斉藤治一	
将　棋	薄井和彦	田野辺修身	
カラオケ	増渕秋夫	田中貞夫	
女性部	荒川栄子	長尾明子	

◎本部諮問機関（行事企画部）

部　長	猪瀬洋二		
副部長	矢部昌一	児玉　進	
部　員	藤田　清	竹尾広三	竹熊国夫
	飯野　正		

282名 7月現在 会員状況

この後、子供向けのショー、よさこいライブなどのアトラクションにつづいて、福引大抽選会も。

いきいき部活

《カラオケ部》

6月12日（金）カラオケBanBan今市店 500円。一人6曲ずつ歌えて楽しい一日でした。（増渕部長）

神山敏子（清　滝）
福田和夫（安良沢）
福田勝友（豊　岡）
田中貞夫（今市南）
田中千枝子（今市南）
増渕秋夫（所　野）

《ゴルフ部》

6月22日（月）

日光プレミアゴルフ倶楽部（旧ハレル・日光市七里）

8時33分 インコースからスタート。賞品代 1,000円。会員4,000円 ビジター5,500円 昼食付。

昨年度は諸般の事情で大会を開けなかったが、久々の競技は本コースを企画。

天候にも恵まれ、5組に分かれた18名は勇躍！コースに向かって行った。

ハーフを終え、結構なメニューの昼食に舌鼓を打った人も多かったのではないか。表彰式では、シングルの人はもちろん、それぞれがプレイの余韻を味わえた模様。和やかに終えた今回を成功と見

順	氏名	支部	グロス	HC	ネット
1	青木恵一	久次良	85	13.2	71.8
2	野原敏雄	安良沢	93	20.4	72.6
3	増渕秋夫	所　野	80	6.0	74.0
4	神山広繁	大沢西	90	15.6	74.4
5	金子一夫	大沢東	78	2.4	75.6
6	福田敏郎	大　字	83	7.2	75.8
7	神山　近	細　尾	96	19.2	76.8
8	松本正志	安良沢	94	16.8	77.2
9	神山孝雄	細　尾	87	9.6	77.4
10	鈴木　浩	所　野	98	20.4	77.6

張切って！ 和楽踊り

熱い季節がやって来ました。昨年は豪雪被害で中止となった〝記念祭〟が、今年は8月7日（金）に実施されます。日精会の「お休み処」へどうぞ！

るならば、コースに関しては市民ゴルフ場の都合に振り回される等を回避し、本コースに出て行くのも一計だ。

本部の動向

◎県メーデー中央大会：フォレストアリーナ（鹿沼市下石川）
4月29日（水）薄井会長・太田副会長・篠原副会長
日野相談役・石川編集部長

◎日精会名簿作成：なんたい地協（今市）5月8日（金）
薄井会長・篠原副会長・鈴木副会長・荒川副会長
福田会計・中村事務局長・石川編集部長

◎役員会議：5月11日（水）、6月17日（水）、7月27日（月）

だまされない・もめない

栃木県高退連が主催する研修会に日精会のメンバーも参加。老後の備えに関する講演があり、有意義な時間を過ごせた。

1．日　時　平成27年6月23日（火）
　午後1時開会
2．場　所　ニューみくら（宇都宮）
3．講演内容
　①特殊詐欺の現状と被害防止対策について
　　栃木県警本部　警部 鈴木忠義氏
　②円満相続のための遺言・・・相続税・贈与税・遺言
　　一般社団法人 財産管理センター
　　代表理事　内野直忠氏

◇日精会からの参加メンバー
日野亮治（森友荊沢）
篠原勝男（大沢東）
荒川栄子（清　滝）
中村竹夫（東　町）
矢部昌一（今市南）

わらくいけ

年齢とは妙なもので、若い時は気にも留めずに突っ走るだけだが、七十の坂を越えると、流石に〝思えば遠くに来たものよ〟となる。昔なら長寿を喜び、それなりの生活をエンジョイできたのだろう◆昨今は長生きの意味合いが殺伐としている。最たる原因は生き方をいたずらに惑わす世相、というか政治にある。憲法を拡大解釈するばかりか、詭弁を吐いて〝党利!?〟をゴリ押しするアベソウリ。安保関連法案が通されてしまえば、戦後の尊い長期平和はないがしろに◆経済的にキビシイ現状についても声高に主張したい。老人の年金を削り取る一方で、若者層の定職化を阻む、ブラックバイトを強いるなど、決して〝生産的〟とは言えない。政治が人心をむしばんでいる◆税金一つとってもそうだ。企業を優遇して大幅減税だが、個人は減税どころか低所得、物価上昇の波をかぶり、追い込まれた状態だ。二宮尊徳翁の言に従えば、まず富裕層が多額納税者として国を支え、片や低所得層は現状に止まらず、より多くの納税で国に貢献できるよう精勤すべきと◆これを国民自らが不能だ、画餅に等しいなどと諦めるまい。重要なのは我々の安心な生活。為政者にも、姿勢を正せと求め続けるべき。権力にモノを言わせて不安と無理の種をまかれては国民がたまらない（S・I）

《Gゴルフ部》

春の大会　５月14日(木)
大谷川グリーンパーク
参加者23名。参加費500円。
６・16付けの下野新聞に上位成績者が掲載された。

日光連山をバックに

【男　性】

順	氏　名	支部	スコア
１	田中貞夫	今市南	８２
２	金田　博	今市北	８９
３	三浦一郎	森友荊沢	８９
４	竹熊国夫	明　神	９０
５	加藤則男	安良沢	９０
６	篠原勝男	大沢東	９０
７	岩本文夫	安良沢	９１
８	大出文夫	森友荊沢	９４
９	児玉　進	森友荊沢	９５
10	矢部昌一	今市南	９６

【女　性】

順	氏　名	支部	スコア
１	大谷昌子	安良沢	９９
２	加藤静江	安良沢	１０１
３	田中千枝子	安良沢	１０３
４	岩本京子	安良沢	１０４
５	小又　操	安良沢	１０５

《歩こうかい部》

裏磐梯(福島)は梅雨の中休み。デコ平湿原～百貫清水の往復約2.5時間のコースを、37名全員が元気に歩きぬいた。バスの中ではビンゴやカラオケで、大いに盛り上がった。参加費を当初の5,000円から4,500円に減らせた。参加者が増えたことによる。皆さん、お疲れさまです。(部長:大門新一)

出発前　ゴンドラ山頂駅にて　6月29日(月)

◇湿原のワタスゲ、モウセンゴケ、レンゲツツジ等を眺め、百貫清水でノドを潤した楽しい一日。部長さんたちのお骨折りに感謝。次回が楽しみ。(西町　齋藤信厚)

◇座席に夫婦席の張り紙！スタッフの心づかいに感謝。ゴンドラの360度パノラマに感動。楽しく健康維持できる行事に参加者が増えて欲しい。(大沢東　飯野　正)

《将棋部》

6月6日(土)

上位入賞者

Ａ　組

優勝	斉藤義雄
２位	斉藤　務
３位	吉原重和

Ｂ　組

優勝	櫻井藤七
２位	堀田清之
３位	福田辰美

(詳細は下表による)

《囲碁部》

6月10日(水)南原コミュニティセンター(下野大沢駅近郊)

会場：日光福祉保健センター

No.	氏　名	支部	勝敗表
１	斉藤　務	安良沢	５勝２敗
■２	吉原重和	今市北	５勝２敗
A ３	大出文夫	森友荊沢	１勝６敗
■４	高頭東志夫	安良沢	５勝２敗
組 ５	田野辺修身	所　野	１勝６敗
■６	斉藤義雄	大　字	６勝１敗
７	井上保夫	安良沢	１勝６敗
８	斉藤治一	大沢西	４勝３敗

No.	氏　名	支部	勝敗表
１	櫻井藤七	久次良	６勝１敗
■２	福田辰美	森友荊沢	４勝３敗
B ３	中山貴才	安良沢	３勝４敗
■４	堀田清之	大沢西	５勝２敗
組 ５	渡辺治夫	安良沢	１勝６敗
■６	池上三市郎	東　町	２勝５敗
７	川田盛一	久次良	３勝４敗
８	薄井和彦	久次良	４勝３敗

※実績に基づいてリーグ分け。
参加費　1,000円

順位抜きで打つことに集中して楽しめた。(星部長)

星　防人(大沢東)、冨本伸治(久次良)、斉藤治一(大沢西)、山崎勇二郎(今市南)、岡　啓次郎(大沢西)

《女性部》

今のところ、計画は未定。

和話輪のコーナー　第４回

～のびのび短歌～

日野亮治(前会長)

「グラウンドゴルフ讃歌」

☆ 快晴の男体下ろし一人占め
早朝のグラウンドゴルフさわやかなり

☆ 雲一つなき男体見事なり
健康競いてグラウンドゴルフに興ず

☆ 山頂の残雪仰ぎ見てグラウンドゴルフに集いたり
逝きし仲間二人偲びつつ

新入会員紹介

◎5月入会
中山郁男(所野)：入部先未定

◎6月入会　なし

◎7月入会
田中邦夫(安良沢)：歩こうかい
八木沢京子(東町)：Gゴルフ・カラオケ・歩こうかい

あの人この人

つぎつぎ素顔紹介 ④

〝和の代五人衆〟について

高橋和夫(東町)

セピア色の集合写真に収まる29名の子供たちは、65年前の幼稚園児で、いずれも、終戦の年に、当時２００軒近くあった「和の代社宅」で産声をあげている。

この中に自称〝和の代五人衆〟の日精会会員五人がいる。生まれた順でいうなら、篠原勝男・上沢良男・薄井和彦・下山正一・小生(高橋)となる。

この春、薄井が日精会会長に就任したことで、〝和の代五人衆〟も、いつの間にか会の中核を担う世代になったことを、しみじみ噛み締めている。

我らを含めた男女計９名が古河日光に入社したけれど、社宅解体のころに、それぞれは新たな地へ職場へと分散。

改めて声をかけ合うこともなく、そのまま疎遠となって過ぎ、やがて、めでたく定年を迎えた次第。

先年、日精会の一泊旅行の宴会後、我ら仲良し五人衆だけの二次会となり、懐かしい話題で弾んだものだ。

幼稚園から中学卒業までの、和の代の女の子についてとか年長者を絡めたこと等、まるで昨日のことのようなみずみずしさで一挙手一投足が思い出され、夜中過ぎまで、思い出は尽きなかった。

当時、テレビなどは無い。集団でチャンバラ、魚とり、ベーゴマ等々に熱中した。

常に年長者が年下の子を庇い、その年長者を若年者が敬うという、当地に継がれた良風と合わせ、美しい自然の中で育まれた。

今、薄井会長が正に年長者。若年者から敬まわれる年配だし、我らの誇れる仲間だ。

彼が日精会の更なる発展のために尽力寄与されるよう、小生も〝和の代五人衆〟の一人として、友好と連携を深めつつ、微力ながら、側から応援していきたい。

そして、年相応に大胆、且つ、しなやかに生きて行きたいと思っている。